

(件 名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書

(陳情の趣旨)

私は、生まれも育ちも鹿児島です。ずっと同じ場所に住んでいると、その土地の良さ、希少価値の高いもの、未だここに在ることが奇跡である自然事象などに気が付かないものです。かく言う私もその一人でした。

大人になり、自分の足であちこち観光したり、県外から転勤して来た方と知り合ったりした中で、わが県の良さや価値が少しずつ解って来たように思います。

山、森、田、川、海、そして活火山。都会なら多大な時間と労力をかけて出向かなければ接する事の出来ない自然が、すぐ手に届く場所に在り、多種多様な昆虫や動植物が生息している生命豊かな森から、車でたったの30分で天文館のような繁華街に出られる町というのは、そうそう無いのだという事。

そしてそれが、鹿児島の最大にして唯一の「他県には無い魅力」であるという事。

活火山があるという稀有な魅力の裏には、降灰という大きなマイナス面があり、精密機械を造るような工場を誘致するのは難しいのではと考えます。また本土の端っこということにも、都心からの距離、それに伴う経済的、物理的ハンデは否めません。流通に余分な費用がかかる場所に、わざわざ進出して来る企業や学校があるとしたら、それを引いて余りあるベネフィットが必須だろうと考えた時、素人頭で思い付く唯一のものが「観光」です。

そしてその素となる「観光資産」の中で、最も特筆すべきなのが先述したような自然の恵みだと思います。

「広大な海の向こう側に活火山が正面を向いてそびえ立つ」世界中を見回しても稀有で貴重な光景だと思われます。桜島は神様がくれた鹿児島のボーナスポイントです。何故、そんな奇跡のような景色の中に、よりもよって「体育館」を建てるのでしょうか？そのような発想になる為政者が他県にもいるのだろうか？一体どのような了見で“あの場所が最適だ”と思われたんだろう？・・・色々考えを巡らせてみましたがどうしても腹落ちしません。私は『体育館』が観光名所になる可能性はゼロに近いと思っています。旅行好きの自分が『他県の新しい体育館を観に行くか』と自問すれば、答えはおのずとそうになりました。

計画に携わっている方々の多くも、本音ではそう思っているのではないのでしょうか？

それとも何か、私達市民には想像もつかない特別な事情や理由があるのでしょうか？

純粋に「立派な体育館は人が集まる観光名所に成り得る」と思われているのなら、それはそれで理解に苦しみます。付度や利害関係など（もし有るのでしたら）一切合切取っ払い、真っ新な頭と心で今一度考えてみていただけないのでしょうか。『果たして自分なら、体育館を観にわざわざ県外まで赴くだろうか？』と。

・陳情項目

① 以上の趣旨に基づき、新体育館建設地の再考を強く要望します。